

2018年(平成30年)

岡崎教区第15組

真宗講座

本講座は、岡崎教区第15組が長年実施している夏期集中型の開法講座で、最寄りの寺院において、内外で活躍されている講師より、御法話をいただきます。日常生活に流されがちな私たちが“現代に生きる浄土真宗の教え”に触れる大切な機縁です。本講座の開催にあたっては、有縁の方々の志により、組内僧侶によって申経をお勤めいたします。是非、お誘い合わせの上、ご参詣・ご聴聞下さいますよう心よりお願い申し上げます。

共通テーマ『聖典に学ぶ』

第1回 さと お 里雄 こう い 康意 師 (前真宗大谷派宗務総長 岐阜県海津市 緑林寺住職)

7月13日(金) 午前9時始経～12時

じゅかくじ 壽覺寺 (高浜市屋敷町 2-8-5) 電話 0566-53-1195

第2回 お やま 小山 こう えん 興圓 師 (安城市野寺町 本證寺住職)

7月18日(水) 午前9時始経～12時

ねんくうじ 念空寺 (安城市東端町中繩手 11) 電話 0566-41-2488

第3回 たけなか 竹中 じしやう 慈祥 師 (難波別院法務部長 滋賀県米原市 真廣寺住職)

7月20日(金) 午前9時始経～12時

ずいごんじ 隨嚴寺 (西尾市南中根町長仙 65) 電話 0563-57-3955

第4回 おだに 小谷 こうじ 香示 師 (西尾市一色町大塚七反 明榮寺住職)

7月26日(木) 午前9時始経～12時

みょうすいじ 明水寺 (安城市石井町石原 54) 電話 0566-92-0923

※ 各日とも、すべて申経が上がります(30分程度)

主催：真宗大谷派岡崎教区第15組教化委員会

(高浜市)：恩任寺・秋篠寺・専修坊・壽覺寺・正林寺

(安城市)：本龍寺・信照寺・念空寺・寶林寺・城泉寺・明水寺

(西尾市)：隨嚴寺・龍讚寺

『釈尊伝に学ぶ 一生まれた意味と生きる喜び一』

さとお こうい
里雄 康意 師

(前真宗大谷派宗務総長 岐阜県海津市 緑林寺住職)

釈迦牟尼仏陀(釈尊)の教えに出会った人々が、釈尊の生涯を教えとして伝えてくださったことを学び、我々の人生を見直し、生きる上での課題、生きる方向を確かめていく。釈尊は、人間の苦悩を見つめ苦悩を超える道を明らかにしてくださった。



『蓮如上人に聞く浄土真宗のご信心』

おやま こうえん
小山 興圓 師 (安城市野寺町 本證寺住職)

「聖人一流の御勅化の趣は、信心をもって本とせられ候」(御文) 浄土真宗のみ教えの要である「ご信心」を、このように簡潔にはっきりと仰ったのが、浄土真宗中興の祖といわれる蓮如上人でありました。

この度は、念空寺様の四幅の「蓮如上人絵伝」を絵解きさせていただき、蓮如上人にご信心についてお聞かせいただきたいと思ひます。



『ご和讃にきく』

たけなか じしゅう
竹中 慈祥 師

(難波別院法務部長 滋賀県米原市 眞廣寺住職)

「和讃」は数あれど、親鸞聖人のご和讃は特別に沢山あり、一首一首に聖人の感動と願いが込められています。

今回は「弥陀成仏のこのかたは・智慧の光明はかりなし」の和讃を通してそのお心に触れてみたいと思ひます。



『存在を問う 一空過を超える道一』

おだに こうじ
小谷 香示 師 (西尾市一色町大塚七反 明榮寺住職)

人生63年にしてはじめて、生きることの危機に直面させられた。生きることの困難さや苦しさ、そして不安感や絶望感が容赦なく襲ってきた。泥凡夫としてあえぐ私は「人が人として存在していること自体が幸福だ」「いのちより大切なものがある」という珠玉のひとつと言との出遇いにより、見失いかけていた視座を回復することができた。あらためて空過を超える道を明らかにしたいと思ひます。

